

消防団員教育

消防学校では、現役の消防団員を対象に、学校施設・設備を有効に活用し、幹部教育（指揮幹部科分団指揮課程・現場指揮課程）及び短期教育（一日入校）を実施しています。

また、市・町消防団の要請に基づき、消防学校職員を現地に派遣して行う現地教育（現地訓練）も実施しています。

これら消防団員教育の主な内容は次のとおりです。

指揮幹部科分団指揮課程

分団の管理運営や活性化に向けた幅広い知識の修得を図るとともに、災害発生時の管理運営や効果的な現場活動について、分団指揮者としての自覚を高め資質の向上を図ります。



指揮幹部科現場指揮課程

火災防ぎよ、水災活動、救助救命、避難誘導及び情報収集・伝達に係る的確な現場指揮及び安全管理の知識・技術の修得を図るとともに、自主防災組織等に対して防災指導を行えるよう、現場指揮者としての資質の向上を図ります。



一日入校

市・町消防団からの要請に応じて、入校した消防団員に対して、訓練礼式、ポンプ操法等、消防・防災活動上の知識の修得及び技術の向上を図るための教育訓練を実施します。



現地訓練

市・町消防団からの要請に応じて、消防学校職員を地元へ派遣し、訓練礼式、ポンプ操法等、消防・防災活動上の知識の修得及び技術の向上を図るための教育訓練を実施します。



学校教官紹介



各個訓練



通常点検



訓練講評